

第2回

日本国際芸術祭

Japan Annual-International Art Festival

主催者企画

第2回 日本国際芸術祭サミット

開催報告

一般社団法人 夢洲新産業・都市創造機構 事務局作成

主催者企画

- < 主催 > (一社)夢洲新産業・都市創造機構
< 後援 > 京都府 / 京都市 / 「大阪・関西万博」京都支援協議会 / (公社)2025年日本国際博覧会協会
(一社)関西経済同友会 / (公社)関西経済連合会 / 大阪商工会議所
< 協賛 > プラチナ: 阪急電鉄(株) ゴールド: オムロン(株) / 岩井コスモ証券(株) / (株)竹中工務店
シルバー: (株)長谷工コーポレーション / 相互タクシーホールディング(株)

メイン企画 / 第2回 日本国際芸術祭サミット

第2回日本国際芸術祭の主催者企画として、10月10日(木)にメイン会場である世界遺産 龍谷山 本願寺(西本願寺)にて、「第2回 日本国際芸術祭サミット」を開催致しました。

< 日程 > 10月10日(木)13:00 ~ 17:00

< 形式 > リアル参加形式

< 会場 > 世界遺産 龍谷山 本願寺(西本願寺) 書院「対面所(鴻の間)」(国宝)

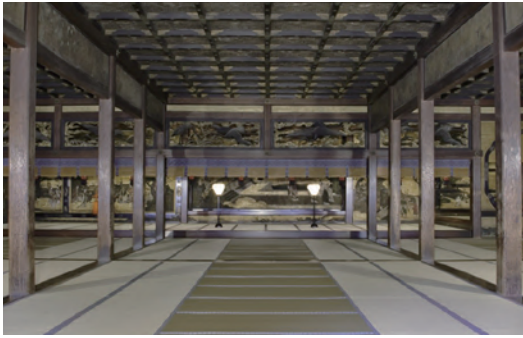
< 開催趣旨 > 文化芸術と経済社会の好循環エコシステムの構築に寄与と、文化芸術立国日本といのち輝くWell-beingな日本の未来創りへの貢献を目指し、各界を代表する御登壇者様から、2025年日本国際博覧会に向けて、アート・デザイン・サイエンス・テクノロジー・経済の共創についてお話いただきました。関西全体で産学公が全力を挙げて取り組むと共に、各地域との連携により広く全国に展開することで、科学技術と文化芸術と経済産業がシナジーを発揮し、日本から世界に向けていのち輝く未来社会を拓く共創の輪が拓がっていけば幸いです。※終了後は交流会にて、ご登壇者の皆様と名刺交換や交流をしていただきました。



会場 世界遺産 龍谷山 本願寺(西本願寺)



浄土真宗本願寺派の本山。1272(文永9)年宗祖・親鸞聖人末娘覚信尼が京都の東山大谷に建立した廟堂に始まる。第3代覚如上人のときに本願寺と公称。第8代蓮如上人の尽力により大教団に発展。1591(天正19)年豊臣秀吉が寺地を寄進、現在地に移った。1602(慶長7)年本願寺は東西に分立。御影堂と阿弥陀堂はともに国宝。書院の庭園(特別名勝)は桃山文化を代表する枯山水様式。その他、わが国最古の能舞台である北能舞台、唐門など桃山文化を今に伝える国宝建造物を多数有している。美術工芸品では三十六人家集(国宝)などを所蔵。1994(平成6)年12月「古都京都の文化財」として、世界文化遺産に登録された。



◀ 書院「対面所(鴻の間)」(国宝)

本願寺の書院では一番規模の大きい広間で、ご門主との対面に使われたところからこの名がある。上段正面の欄間に雲間を飛ぶ鴻の透かし彫りがあることから、鴻の間とも呼ばれている。



開会のご挨拶



龍谷山 本願寺 執行長 藤貫 無極氏

ご来賓のご挨拶



京都市長 松井 孝治氏

第1部 講演



<特別講演>文化庁長官 都倉 俊一氏



阪急阪神ホールディングス(株)代表取締役会長 グループCEO 角 和夫氏



大阪・関西万博催事検討会議 共同座長 大崎 洋氏



(公社)2025年日本国際博覧会協会 総合戦略室長 三浦 章豪氏



〈ビデオメッセージ〉
2025年日本国際博覧会テーマ事業プロデューサー 石黒浩氏



第2部 パネルディスカッション



阪急阪神ホールディングス(株)代表取締役会長グループCEO 角和夫氏



経済産業省 近畿経済産業局長 信谷和重氏



大阪・関西万博催事検討会議 共同座長 大崎洋氏



(公社)2025年日本国際博覧会協会 総合戦略室長 三浦章豪氏



〈モデレーター〉(株)三菱総合研究所 執行役員 高橋朋幸氏

